

「月寒九条の会」第7回例会

『戦争体験と平和』を語る集い

今、憲法が危ない 地域に平和憲法の輝きを!

プログラム

○戦争体験の証言 (1時35分より)

・「火の玉が飛んでくる、まわりは火の海 — 東京大空襲 —」

結城 信重さん (87歳 終戦のときは東京都台東区在住 国鉄職員)

・「学徒動員、勤労奉仕、母親の悲しみ」

狩野 廣さん (85歳 予科練志願申請中に終戦を迎える)

・「子どもたちの戦争 — 空襲・学童疎開・平和憲法 —」

高畑 滋さん (79歳 空襲を避けて国民学校4年生で埼玉県に集団疎開)

○意見交流 (3時5分頃~3時55分)

・語り合おう 受け継ごう — 戦争体験 戦争の悲惨さ 平和の尊さ —

安倍首相は、秘密保護法制定、武器三原則の廃止、そして解釈改憲による集団的自衛権行使の容認と矢継ぎ早に危険な方向に舵を切り始めました。

今まさに戦前の「戦争をする国」づくりと同じ道を歩み始めています。

殺傷のために一発の銃も撃たなかった、相手に一発の銃も撃たせなかった、日本。世界に誇れる平和な国、日本。これを可能にしたのは、平和憲法、憲法九条があったからであり、この憲法を守った国民がいたからです。

みなさん聞こえてきませんか。平和憲法の悲痛な嘆きの声を!

当日は、地元の7、80代の三名の方々に、戦争の真の姿を生々の声で語っていただきます。

みんなで語り合い、受け継ぎ、後世に伝え広げましょう。戦争の真実を! 平和の尊さを!

■とき 9月6日(土)1時30分~4時

■ところ 東月寒地区センター

(月寒東3条18丁目5-1 ☎853-2011)

■資料代 300円(高校生・中学生・小学生無料)

主催「月寒九条の会」○共同代表 奥田 仁 (北海学園大学教授)

三上一成 (三上整形外科医院長)

※ 連絡先 野口(852-9360) 加藤(852-2346)

— 裏面に会場周辺の案内図があります —

